

# 西国三十三霊場巡りマラニック 第三十二番 織山 観音正寺

十九年十二月九日

フル百回楽走会

593

武藤 翔峰

観音正寺は聖徳太子を開基とする寺のひとつである。行きは能登川駅から裏参堂経由で本堂に向い、帰りは表参堂から安土駅に向った。ここは西国三十三ヶ所中最難所の一つとして有名な寺であり、アップダウンや距離もあり十分にその困難さを体験できた。本堂は平成5年(1993年)5月22日に全焼した。この火災により本堂に安置されていた重要文化財の本尊、木造の秘仏千手千眼観音立像をはじめ平安後期の毘沙門天像など仏像9体も焼けてしまった。しかし平成16年5月22日に「本堂」が再建され、落慶法要と同時に本尊の開眼法要も行われた。本尊は千手千眼観世音菩薩である。

